

令和6年度 第1回西区区政会議 会議録

1 開催日時 令和6年6月27日(木) 19時から20時55分

2 開催場所 西区役所4階402会議室

3 出席者の氏名

伏見 祐子(委員)、鶴原 正子(委員)、秦 喜代子(委員)、吉田 淳三郎(委員)、阪口 元樹(委員)、山東 明(委員)、宮地 秀和(委員)、谷井 舞(委員)、竹下 政稔(委員)、江戸 実(委員)、岸本 結花(委員)、北田 美和子(委員)、信達 和典(委員)、長谷 奈津見(委員)、丹下 理沙(委員)、名村 奈美子(委員)、藤枝 寛示(委員)、川野 英二(委員)、三村 浩也(西区長)、中野下 豪紀(西区副区長)、松谷 康男(総務課長)、澤田 卓司(事業調整担当課長)、玉置 信行(教育担当課長)、田野 克彦(地域支援課長)、折原 裕之(安全安心担当課長)、大下 好則(窓口サービス課長)、江川 浩子(保健福祉課長)、合田 恵子(保健主幹)、吉岡 範行(子育て支援担当課長)、山中 一弘(生活支援担当課長)

4 議題

- (1) 令和6年度西区運営方針について
- (2) 令和6年度西区予算について

5 議事内容

[開会]

(澤田事業調整担当課長)

定刻になりましたので、ただいまから令和6年度第1回西区区政会議を開催いたします。私は進行を担当いたします、西区役所事業調整担当課長の澤田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。失礼して着座させていただきます。

それではまず、本日の出席状況でございます。大藤委員、大林委員、唐木委員、木下委員、杉本委員、丹下委員、畠山委員、山内委員の8名の方から、所用により欠席される旨ご連絡をいただいております。なお、まだお着きでない委員もいらっしゃいますが、現在定数、25人の2分の1以上が出席されていることから、本会は成立していることを申し上げます。議事に入ります前にお願いがございます。

区政会議は公開が原則となっております。議事録作成のため、録音をさせていただいており、加えて記録用として職員がカメラ撮影を行います。

また、今回も区政会議の運営に当たりまして、大阪公立大学の皆さんにご協力いただいております。

ります。各テーブルで後程グループ討議のご意見を発表していただく他、新たに、学部生の皆様も地域活動に係る研究の一環として、皆様の話し合いを傍聴させていただきますので、ご了承願います。なお本日参加されている大阪公立大学の皆さんは、今後、いくつかの夏祭り会場などで、地域活動に関するアンケート等を行い、研究結果をまとめる予定になっております。

それでは開会にあたりまして、三村区長からご挨拶、ご挨拶申し上げます。

〔区長あいさつ〕（三村区長）

皆さんこんばんは。区長の三村です。本日はお忙しい中また夜分遅く、ご参集いただきまして本当にありがとうございます。前回の区政会議は令和6年1月、昨年度の3回目として開催いたしました。それ以来約6ヶ月が経過しておりますが、その間西区役所としてもいろいろな取り組みを行って参りました。

今月6月9日は西区ではじめての取り組みとなった「西区全地域合同防災訓練」を行いました。

一部二部の二部制で行いましたが、多数の方にご来場いただいて大いに盛り上がったというふうに思っております。震災への備えの重要性、これを皆さんに周知し、ご認識いただく良い機会になったと思っております。

ちなみに皆さん、震災への備えは大丈夫ですか。能登地震では、水、トイレ、これらが非常に大きな話題になりました。

水は1人1日3リットル必要。3日間は自宅で耐えて欲しい、と申し上げているので1人9リットルぐらいはご準備いただきたいということを行政からのお願いということでお知らせしております。またご自宅帰って、備えがあるかご確認いただければというふうに思います。よろしくお願いします。

それから大阪・関西万博ですけれども、とうとう300日を切りました。西区役所としても機運盛り上げに取り組んでいこうということで、10月の5日6日に「西区バル」という名前で、万国博覧会の「万国」にちなんで「世界の食が集まるイベント」と銘打って、取り組みを行います。ぜひ皆さんにもお越しいただいて、万博をちょっと先に垣間見る、そんな形で楽しんでいただければと思っております。

万博もあともう300日を切りました。皆さんお楽しみにしていただければと思います。よろしくお願いします。

それから、ここから区政会議の話ですが、本日は本年度第1回目の開催ということになります。年度の最初の会議は昨年度の区役所の取り組みについて皆様にご確認いただき、評価検証いただくと、こういうことが趣旨になります。

事前にいただいた皆様からのご意見もすべて拝見しました。

本当にいろんなご意見をいただきました。その中に一本通っているのは、やはり西区を良く

したい、という思いでお書きいただいたご意見ばかり、ということでした。私としても本当に嬉しい限りです。この場を借りて感謝申し上げます。

今回はそれに加えて昨年度の課題として残った広報について、皆様に集中的にご議論いただきたいと思います。

皆様方のご議論から出てきた内容を踏まえ、区政に反映させていきたいと考えております。是非忌憚のないご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは本日 2 時間という長丁場になりますが、よろしくお願いいたします。私からは以上です。ありがとうございました。

〔資料確認〕

（澤田事業調整課長）

配付資料を資料番号順に説明）

先ほど区長からも PR させていただきました万博グッズを皆様に配布させていただいております。ミャクミャクのクリアファイルですが、材料の一部にお米が使われているちょっとユニークなファイルですので、ぜひお持ち帰りください。またそのファイルの中に西区の SNS を登録してくださいというチラシも入れさせていただいております。そちらも是非ご協力いただければと思います。よろしくお願いいたします。

それではここからは川野議長に進行をお願いいたします。

〔議事進行〕

（川野議長）

皆さんこんにちは。

本日は例年、第 1 回の区政会議で実施いたします前年度の区政に対する評価に加えて、広報業務に関するグループ討議を含め午後 9 時をめどに進めて参りたいと考えておりますので皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。それでは早速お手元の次第に沿って進めて参ります。

〔区政運営に対する評価〕

（川野議長）

まず次第の 3 番目議題の一つ目、区政運営への評価です。

これは令和 5 年度運営方針にかかり、区としてどのように取り組んだのかを検証し、評価するというものです。区役所からまず、取り組みの評価等についてご説明をお願いします。

（澤田事業調整課長）

それでは資料 1、資料 1-1 と資料 1-2 が、説明資料となります。

ただ、その前に先ほど申し上げました、資料番号5番のインデックスのある西区運営方針に対する区役所としての評価から説明させていただきます。

令和5年度西区運営方針の最後の方のページに、「自己評価」と「今後の方針」という欄があるかと思うので、そちらから読み上げをさせていただきます。

資料の場所等、もしおわかりにならない場合は、近くの職員にお尋ねいただきますようお願いいたします。

ではまず、「自己評価」の方から読み上げさせていただきます。

全体としては、目指すべき目標に向かって、施策展開が順調に進捗している。なお、各経営課題に対する自己評価は次のとおりである。

経営課題 1-1、地域コミュニティの活性化。地域個活動協議会の認知度は向上させられなかったものの、各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じる区民の割合が前年度から増加するとともに、他の地域活動主体や区役所との連携も活発になっていることから、地域活動の活性化を十分に支援できたと考える。

経営課題 1 の 2、安全安心で快適なまちづくり。防災訓練や防災アドバイザーによる講座、ワークショップを通じて、区民に災害の実態や対策を伝えたことで、防災対策を講じているとする区民アンケート回答者数の割合は、目標値を達成できたと考える。また、住民主体の見守り活動に関しては、見守り組織の構築や運営のための課題を吸い上げ、必要な支援を実施した結果として、地域で安心して暮らせると感じる区民アンケートの割合も増加したと考える。一方で、災害に備えた個別避難計画の早期の策定などについては今後の課題となっている。

経営課題 2 の 1、安心して子育てや教育ができる環境づくり。Instagramの開設をはじめ、情報発信に注力した結果、妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない相談支援体制の構築等により、安心して子育てする環境が整っていると感じた保護者アンケートの割合は、目標値を達成できたと考える。教育行政連絡会、教育会議においては、テーマを設定した意見交換の実施等、連携、情報共有に努めた結果、これらの会議が、課題解決に寄与しているとの評価を得た。

経営課題 3 の 1、ニア・イズ・ベターを徹底するための区役所づくり。新たな広報活動として、動画作成に積極的に取り組み、事務手続きの案内や韮公園の紹介等、10本を超える動画を配信した。その結果、区政情報が適切に発信されたとするアンケート回答者の割合は前年度から増加したが、目標値には至らなかった。区政会議についてはグループ討議を実施する等運営方法を改善した結果議論が活発になり、より多くのご意見をいただくことができた。窓口サービス改善に向けた研修実施、庁舎内掲示物の整理や、森林環境譲与税を活用した庁舎内備品等の環境整備など、当初計画に基づき着実に実行できた。その結果、令和5年度、格付結果では前年度のポイントを上回ることができた。加えて、窓口の混雑緩和に寄与するコンビニ交付については、動画を活用した啓発に努めたことにより、証明書の発行割合について、目標値を上回ることができた。

続きまして「今後の方針」を読み上げさせていただきます。

経営課題 1 の 1、地域コミュニティの活性化。

地域活動協議会や地域活動協議会が行っている地域活動への関心を持ってもらえるよう、魅力ある広報を検討する。マンションにより、管理組合の組織力や防災力、防災への意識に差異があるので、それぞれに応じたアプローチを実施していく。新たな地域活動の担い手として、企業や専門学校等との連携も進めていく。

経営課題 1 の 2、安全安心で快適なまちづくり。地域活動との関わりが薄い区民にも、防災訓練や講座、ワークショップを通じて、災害の実態や対策を伝えていけるよう取り組む。

高齢者、障害者などに対する見守り活動が組織的に継続できるよう、各地域主体の連絡会が定期的に複数回開催されるよう支援していく。

経営課題 2 の 1、安心して子育てや教育ができる環境づくり。インスタグラム等を活用して、より積極的に情報を発信していく。コロナウイルス感染症 5 類引き下げ以降、新たに生じている教育をめぐる課題解決を検討しつつ、支援を申し出てくれる団体企業を見つけ、学校とつないでいく。

経営課題 3-1 ニア・イズ・ベターを徹底するための区役所づくり。区役所の情報発信力については、全部署を挙げて、動画の配信に取り組むなど、現在の方向性を維持しつつ、より加速して強化に努める。窓口サービスについて、令和 5 年度格付結果を踏まえた課題分析、取り組み計画の策定及び取り組みを確実に遂行することで、さらなるホスピタリティの向上につなげる。

以上が区役所としての令和 5 年度の取り組みの評価となっております。

引き続きお配りしている資料 1-1 と 1-2 をご覧ください。

資料 1-1 が、17 名の委員の皆様から事前にいただいた評価シートの集計結果になっております。資料 1-2 の方が、もともと事前にお送りしていた資料と同じものですが、数値目標が達成できたか否かを示した資料となっております。そちら資料 1-1 と 1-2 を見比べながら、ご覧いただけたらと思います。

令和 5 年度においては戦略別の取り組みで評価した場合、11 の数値項目のうち、3 つの戦略で目標が未達成となっております。当項目については比較的多くの委員から「あまり評価できない」、「評価できない」との評価を頂戴しております。

特に評価が低かった戦略の 1 つ目として、地域活動の活性化について説明させていただきます。この戦略については数値目標として、地域活動協議会を知っている区民の割合が 40% 以上になることを目指し、測定結果が 31.2%で目標数値に至らず、また昨年度よりもその割合が低下したものです。

経営課題 1-1 の他の 2 つの戦略は、概ね高評価をいただいております。今回事前にご意見を伺う際に追加情報として地域活動に係るアンケート結果をいくつか提示させていただいておりますとおり、実質的な地域コミュニティの活性化については前進できているものと認識

しております。今後につきましても、地域活動への参加者の増加、町会加入率向上等による地域活動の担い手不足解消、新たな企業団体などとの連携強化といった方向で、地域コミュニティの活性化を促進したいと考えております。あわせて地域発信、区役所発信という両方向からの情報発信に注力することで、一層効果的に地域コミュニティを盛り上げて参ります。

次に評価の低かった戦略として、区民が区政情報によりアクセスしやすい環境整備について説明させていただきます。この戦略につきましても、数値目標として、区役所からお知らせすべき情報が適切に発信されていると感じる区民アンケート回答者の割合が 60%以上となることを目指したものです。測定結果は 55.2%で、昨年度の 49%を上回ったものの、目標数値に至らなかったものです。西区役所では、令和 5 年度の広報事業として、SNS 等の活用、動画での情報発信に注力しましたが、アンケート結果を踏まえて取り組みのさらなる周知活動が必要と考えているところです。

その他、区役所窓口が適切な対応をしていると感じるアンケート回答者の割合においても、76%の目標数値に対して、測定結果が 74.5%と、目標数値をわずかに下回りましたが、今後も来庁者が気持ちよく区役所を利用できるように、高い目標意識を持って、区民サービスの改善に取り組んで参ります。

今回は特に区政情報のアクセスについて、区政全体に影響を及ぼす事項であることを踏まえ、この後のグループ討議で取り上げ、皆様のご意見、アイデアをいただきたいと考えております。

最後に全体の総括としての評価ですが、こちらは高い評価をいただいております、区役所の取り組みに対する励ましのご意見も含まれているものとして、三村区長のもと、区役所一体となって、さらなる区政の改善に努めて参ります。

私の説明は以上でございます。

(川野議長)

ただいまの説明についてご質問などございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

そうしましたら引き続きまして資料 2 に基づき、本日の区政会議実施に際して、事前に委員から寄せられた意見について、区役所から説明をお願いします。

[事前意見への回答]

(澤田事業調整担当課長)

それでは引き続きではございますが、資料 2 の方をご覧ください。令和 6 年度第 1 回育成会議の実施に際して事前に頂戴したご意見の一覧及びその回答を記載しております。

資料左側が皆様から頂戴したご意見、それに対する区役所の考え等を右側に記載しております。今回いただいたご意見の数が 12 項目と大変多くのご意見をいただきました。会議のお時間もございますので、大変恐縮ですが各経営課題ごとにご意見を抜粋し、簡単に説明させていただきます。

まず、経営課題 1-1、地域コミュニティの活性化に関するご意見です。複数の委員からいただいたご意見ですが、地域活動に参加、運営する区民の増加策についてです。西区役所としましては、幅広い年齢層の区民が気軽に地域活動に参加できるように、様々な機会を活用し、地域活動に関する情報発信して関心を高めるとともに、町会加入促進支援や多様な活動主体との連携を通して、地域活動の活性化を進めて参ります。

続いて経営課題 1 の 2、安全安心で快適なまちづくりに関するご意見です。「今年は西区 14 連合同防災会議訓練が実施された。効果のほどはわからないが、毎年行っていただきたい」というご意見についてです。

6 月 9 日の西区全地域合同防災訓練は、区役所をはじめ関係機関の協力のもと、西区地域振興会様が主催された訓練です。西区役所としては、次年度につきましても西区の防災力の向上に向け、継続して、地域での防災訓練が実施できるようにして支援して参りたいと考えております。

続いて経営課題 2 の 1、安心して子育てや教育ができる環境づくりに関するご意見です。

「パソコンの配布は完了しているが、生徒一人一人が使いこなせていない。また、学校の先生も IT を使いこなせていないと感じる」というご意見についてです。

西区役所としましては、本市目標として、1 日 1 回以上は活用するとともに、子供たちの使用による肯定的な回答割合がさらに向上するよう、教育支援について関係局に働きかけて参ります。

最後に、経営課題、3-1 ニア・イズ・ベターを徹底するための区役所づくりに関するご意見です。「居住するマンションのエントランスに広報紙風が配架されているが、この 3 年ほどで手に取られないまま残る部数が増えており、区政に興味を持つ人が減っているのではないか」というご意見についてです。西区役所としましては、ご指摘のとおり、区政に興味を持つ方が減っているという原因の他、区役所が力を入れているデジタル媒体での区政情報を入手する方法も、入手する方も多少はいらっしゃるのではないかと考えております。少しでも多くの方に広報紙を手にとっていただけるよう、紙面デザインの改善等も含め、魅力ある広報紙の作成に努めて参ります。

恐縮ですが時間の関係もございます。主要なものを何点かピックアップしてご説明いたしました。ご紹介できなかったご意見等については、後程資料にお目通しいただければと存じます。

資料 2 の説明は以上でございます。

(川野議長)

ただいまの説明についてご質問などございますでしょうか。

[グループ討議]

(川野議長)

それでは続きましてグループ討議を開始したいのですが、議論の進め方について区役所から説明をお願いします。

（澤田事業調整担当課長）

グループ討議について説明させていただきます。

今回のグループ討議については、これまでのグループメンバーを変更して少し気分を変えて、各グループで同じテーマについて討議をしていただく形をとらせていただきました。テーマについては先ほど三村区長からもお話させていただきましたとおり、令和 5 年度の運営方針で、目標が達成できなかった項目の 1 つである広報とさせていただきます。区役所の取り組みをより効率的効果的に実施するために、広報は大変重要な要素であり、区政会議委員の皆様から様々なご意見をいただき、改善につなげたいという考えのもと、テーマとして選択させていただきました。

グループ討議は、各テーブルの西区役所の職員が司会進行をさせていただきます。討議時間はおおよそ 50 分から 55 分程度を予定しております。また討議終了後、5 分間の時間を頂戴し、各テーブルにおいて西区役所の職員が討議の全体的なご意見内容等を確認させていただきます。その後、大阪公立大学の皆様から、各テーブルでの外ご意見内容を発表させていただきます。

（川野議長）

グループ討議の進行方法について何か疑問点等ございますでしょうか。大丈夫でしょうか。それではグループ討議を始めてください。

＝一旦中断＝

〔グループ討議結果の報告〕

（川野議長）

活発な議論をいただきましたが、各グループで出された意見等を共有します。

それではまず、B グループからお願いします。発表は、広報紙、ホームページ、SNS の順番でお願いします。

（B グループ：発表者 公立大学部生）

まず広報紙に関して。そもそも、どこに置いてあるのか知らない人が多いということと、読むのがしんどいこと、内容が行政の情報だけということが、読む必要を感じない理由に挙げられました。

これに対するアイデアとしては、まずそもそも、手に入る機会を増やすべきというのが一番

にあり、あとは見て面白いお店の情報であったり、何か見た人にとってメリットがあるような、例えばイベント入場券のプレゼントがあったり、そういった特典が増えればもっと良いのでは、という点が挙げられました。

次にホームページに関して。まず情報が混在していてわかりづらいという点と、ホームページで見なくても、区役所に来れば情報は取れるのでいちいち見に行く必要がないという方の意見がありました。

これに対して、ホームページの「わかりやすい見た目」を作る必要があることと、もっと先の情報、例えば1ヶ月先の情報だけでなく二、三ヶ月とかそれ以上先の情報があれば、もっと見てもらえるということ、あと区政の情報だけじゃない面白い情報っていうのがあれば良いという意見が多くありました。

最後SNSに関して。SNSは若者をターゲットにした方が良いという意見が一番多く、アイデアとしてはショート動画で面白いこと、例えば飲食店の情報とか、子供たち、若い人たちが見るような情報を主に載せていくべきと。あと、やはり知っている人が出ているのがいいとの意見が多く、例えば西区に住んでいる有名人の方であったり、子供たちとか、校長先生とか、そういうみんなが「この人知っている」っていうことがあれば、見てもらえるという意見が多くありました。

以上ですありがとうございます。

(川野議長)

ありがとうございました。

次、Aグループお願いします。

(Aグループ：発表者 公立大学部生)

Aグループも広報紙、ホームページ、SNS数についての順で説明していきます。

まず広報紙について。私たちのグループではほぼ全員が広報紙を読んでおられ、どの記事を読まれるかということに関しては、主にイベント情報を見られる方が多かったです。

子供がいらっしゃる方であれば子供に役立つようなイベントを中心に見る方が多く、西区の広報紙に関してもイベント情報自体が興味をもつ内容として、全面的に注目されているのではという話が出ていました。

広報紙への不満点などについての意見として、行政の立場としては情報をたくさん組み込みたいという目的があるでしょうが、情報が多すぎると、具体的にどんな内容があるのかが見づらいのでは、との意見が投げられました。一方それに関しては、見たい情報だけ抜粋してみればいいので、多くの情報が入っていても良いのでは、との意見も出ています。

また、広報紙の表紙のデザインがどうか、という話が出たのですが、全く知らない方に西区のことを知ってもらうことを目的にするのであれば、西区を前面に出した、例えば西区の建物等をデザインの表紙に持ってくるのがいいのではないかという意見も出ています。

次にホームページについてです。

Aグループ内では、西区のホームページを見ている方がほとんどいらっしゃらないという

結果でした。見ない理由としては、大阪市のホームページは見るが、西区のホームページまではあまり見ないという方がおられました。大阪市のホームページを見る方は、大阪市のお得情報を見るためにホームページに飛ぶけど、西区特有の情報を知りたいという方があんまりいないという意見が出ていました。西区ホームページの印象について、デザインがおとなしめな印象になっているという話がある一方、ホームページ自体のデザインの善し悪しは関係なくて、むしろ情報にどれだけのとり着きやすいかっていうことを大事にするべきで、ホームページをどの層に伝えたいとか、どういう人にその情報を知ってもらいたいっていうことを大切にすることがいいのではという意見も出ました。

次にSNSについてですが、委員の方では半分ずつ、利用している方と利用していない方がいました。利用している方は日常的にLINEのアプリをよく使っていることもあり、LINEから情報入手することが特に多いとの意見がありました。LINEでは、子供の給食のメニューを確認したり、緊急時のピンポイントな情報を得ることを目的としたりしているとのことでした。一方SNSを使っていない方は、そもそもSNS自体を日常的に使わないということでした。情報も主に広報紙から得ているため、わざわざSNSを使おうとは思わないという意見が出ました。広報紙を、ラインを通して読めること、例えば区役所での転入の手続きであったり、乳幼児の健診の際に登録することをPRしたり、そういったことを幅広く知ってもらう仕組みが必要なのではないかという意見が出ました。

(川野議長)

ありがとうございました。そうしましたらCグループでお願いします。

(Cグループ：発表者 公立大学部生)

Cグループでもまず、広報紙から発表します。広報紙をどこで入手するのかっていう点に関してはマンションのエントランスであったり、幼稚園や小児科医院で入手するという方が多かったのですが、最近ではそういった場所で広報紙が余っていることが多くあります。その理由としては、各人がやはり必要な情報のみを得るという傾向に近年なっていることで、紙をそのまま取るのではなくて写真を撮って、その情報だけを読むっていうことが挙げられるのでは、との話しが出ていました。広報紙のレイアウトに関してなんですが、表紙を見て取る、という方が多かったのですけれども、6月号からレイアウトが変わっていて、(*実際は5月号から変更)今までは表紙の内容が表紙をあけて裏側に書かれていたのが、表紙とその背表紙に書かれているレイアウトに変わっているという点が挙げられていて、その点はすごくいいかなということが挙げられていました。広報紙の内容をより詳しく知るためのQRコードがある方がいいのではという意見が出されていたのですが、QRコードのアクセス数を調べることができるとより良いのではないかなという意見も出ていました。

これに関しては、どのくらいこの広報紙から情報を得ているのかということがデジタルを通してわかることで、デジタル媒体がどのくらい使われているのかが明確になる方がいいのではないかという意見が出ました。

次はSNSに関してです。先ほどのお話にもあったのですが、やはり今の時代はピンポイントで欲しい情報を得ていくということが主流になっているのではないか、ということが、皆さんのお話の中から見えてきました。そういった中、区の広報のInstagramのアカウントをずっとフォローし続けてもらうのはちょっと難しいのではないかという話になりました。そういったとき、ご意見として、地元のママさんグループのLINEグループなどで、何か情報共有が盛んに行われていることがあるってということが出ました。そういった何かこう地域のインフルエンサーみたいな方がいらっしゃるということであれば、そういう方と区役所が連絡を取って何か情報の提供であったり、連携をしていけたらいいじゃないかというご意見がありました。

また大阪市の新たなラインの周知については、QRコードを載せたポスターを区役所の広報版に貼るということは有ではとの話がありました。広報板は人の利用が多い生活動線上にあり、掲示することは結構効果的ではないかということで、進めていった方がいいのではないかという意見が出ていました。

YouTubeに関して、普段は娯楽目的で見るものっていう感覚があるので、行政の情報というのはちょっと、なんかパツとは結びつかないなっていうのがあって、その中、ホームページで検索したときに、何か動画でしかわからないというか、動画の方がわかりやすいな情報であれば、YouTubeの動画があるとわかりやすいということでした。ホームページにYouTubeのリンクを載せて、そういった動画を出すことで情報を捕捉したり、そういう使い方が有効ではという話になりました。やはり今までピンポイントな情報収集が、終了となっているってところがメインのご指摘がありまして、その上で結構議論が活発にさせていただいたかなと思います。

以上です。

(川野議長)

ありがとうございました。そうしましたらDグループでお願いします。

(Dグループ：発表者 公立大学部生)

Dグループです。

まず広報紙について、現在置いている場所が目的がないとあまり行かない所であったり、行く機会が少ない所ではないか、ということで、スーパーとか他にも生活に密着した場所に配置をすともっと多くの人に見てもらえるのではないかという意見が出ました。また、隅々まで読んでいる人もいれば、知っているけどあまり目を通さない人、興味のあるところだけを見る人もいます。紙媒体で目に入るといろいろな情報が目に入るので、オンライン上で見ってもらうよりもいろんな情報を得てもらえるのではないか、という意見も出ました。

また、小中学校等で配布して家庭に持ち帰ってもらうことで、家庭への情報発信が可能になるのではないかという意見も出ました。

次にホームページです。ホームページは日常的に見る人が少なく、目的を持ってホームページに到達するという人が多かったです。知りたい情報を検索できる欄があるのですが、知り

たい情報にたどり着くための検索ワードを考えるのが難しくて、目的の情報にたどり着けないという意見もありました。

最後にSNSです。SNSを私たちの班ではフェイスブックとLINEに登録している人が多かったです。登録していても見る頻度が高いかって言われればそうでもないということもわかりました。またツイッターやインスタグラムに関しては操作や設定が難しいため登録の機会が少なくなっていることも見えてきました。

YouTubeについて動画の内容ですが、すべての人を対象とするよりも、1度ターゲットを絞ることで、より見てもらうことができるのではないかという意見が出ました。

インスタグラムの活用についてですが、地域のお店の方とかにインスタグラムで西区のアカウントをタグ付けしてもらうことで、より多くの人の目につくのではないかという意見が出ました。以上です。

(川野議長)

ありがとうございました。

他に、職員の方から例えば補足などを議論についてありますでしょうかね。大丈夫でしょうか。

今日私も聞いていて、各グループで非常に活発なご意見があったかなというふうに思います。ただいまの各グループからの発表或いはまた本日の会議を通じてご質問とかご意見などがありましたら、ここでお伺いしたいと思います、いかがでしょうか。

[議論まとめ]

(川野議長)

それではですね、今日の議論をグループ討議を中心に整理します。今日は1つ「広報」という大きなテーマで議論をしていただきましたが、私が聞いた感じでも非常に活発な議論が行われたというふうに思います。

大きく広報紙、それからホームページ、SNSの利用ということで皆さん互いにご利用状況、そしてそれぞれご意見を交換されたのですけれども、やはり広報、ホームページ、SNSはそれぞれ使われ方が違うんだなというふうに改めて思いました。「広報紙はよく見ているけれどもホームページ全然使わない」、「SNSもあんまり使わない」っていうように。そこはやはりターゲットをちゃんと絞っていくっていうことが重要なのかなというふうには思いました。

広報紙に関しては、まずどこに配布すべきか、ということが議論になったと思います。

例えばスーパーに置いたりとか或いは小中学校を通して配布したりとか、そういう形で試してみてもいいのではというご意見とかもありましたし、内容に関して言うと、行政の情報だけでなく、他の様々な情報、例えばですね、特典をつけたらどうかなどの話もあったと思

います。それからあとは、レイアウトに関してですね、教科書みたいな感じではなくて、もうちょっとビジュアルを工夫した方がいいのでは、といったことも耳にしました。

ホームページに関してはやはりどの年代かによって使われ方も違うと思うのですが、「全然見ない」という方もいらっしゃいましたし、「見るくらいだったら直接聞きに行った方が早い」という、そういう方もいらっしゃいました。ホームページ上の情報に関してはやはりいろいろ混在していてわかりにくいということが言われており、私も気になりました。例えば大阪市のホームページと西区のホームページのどっちを使えば良いのか区別しにくい、みたいな話もあったと思います。そういう意味では、情報をどう取り易くするか、ホームページの場合はやはり受け身というよりは主体的に情報取りに行くっていう、そういうような目的で利用されているようですので、目的に合うよううまく整理してその目的にたどり着きやすい、そういうような工夫というのがやはり必要だということが、複数のご意見であったというふうに思います。

情報に関しても、古い情報がそのままであるとか、一方では直近の情報だけではなくて、もうちょっと中期的なスパンでの情報、スケジュール的なものもあった方がいいのではというような議論もありました。

それからSNSに関しては、若者をターゲットにすべきであるとか、あるいは複数、いろいろな意見があったと思いますが、インスタなども含めて、例えば西区でいろんな若い人たちが行くような場所、或いは飲食店についての情報等をタグづけして、そこから関連付けて西区の情報に入ってもらいやり方、あるいは知っている人が出ている、例えば地域での有名人、校長先生など、そういう身近さというのはやはり、特にSNS、インスタなどそういったところでは重要だということです。そういったところを、やはり広報紙、ホームページ、SNSのターゲット戦略としてちゃんと考えないといけないのかな、というそういう印象を受けました。

今回共通の広報紙、ホームページ、SNSの3つの大きなテーマでいろいろご議論いただいたわけですが、やはり皆さんそれぞれご意見お持ちで、利用の仕方、自分にとってはちょっと身近じゃないもの、そういうものもあったりしながら、媒体によってアクセスしやすさ、自分が普段使っているものの濃淡ってのは非常にあり、人それぞれだと思うのですが、やはりターゲットごとの戦略が非常に必要なんだろうというふうに私自身は感じました。

非常に活発な議論が今回ありましたので、そうした点を踏まえて、西区役所においてもこれから改善に取り組んでいただければと思います。

[教育会議報告]

(川野議長)

まだまだご意見がおありかと思えますけれども時間もございますので次第の後その他として令和5年度、第2回教育会議について、区役所からご報告をお願いします。

(玉置教育担当課長)

担当課長の玉置と申します。

大変お疲れのこととは存じますが、ほんの少しだけ概要についてご報告をさせていただきます。

この資料4の1ページ目の裏面をご参照いただければと思います。

こちらの方の裏面のところに1から4まで目次的な形で書いておりますので、この内容に沿いまして、ご報告させていただきます。

まず1といたしまして、令和6年度の教育関連予算やですね、企業連携等の取り組みにつきまして、報告をその時いたしました。

2といたしまして令和6年4月には、堀江小学校 西学舎の開設や西船場小学校、花野中学校の生徒増加への対応策として中之島小中一貫校を開設するなど、急増に関する対策は現時点では一定のめどが立った状況でございます。

3について、今年度の新規事業とし堀江中学校をモデル校に、新たな居場所としての校内サポートルームの開設や、保護者を孤立化させないための対応方法といたしまして、保護者を対象としたワークショップの開催、あるいは地域住民の方も参画いただけるような子育てに関する講演会というのを開催をして参ります。

特徴といたしましては、一般社団法人の「こもれび」という西区内にございます福祉の専門職の方にてですね、生徒に寄り添っていただきますとともに、この事業の運営に当たりましては、地元企業であります三同建設株式会社様、英和株式会社様に各々寄付をいただくなど学校、企業地域区役所が一体となって取り組んでいるところでございます。

4についてですが、令和11年4月に九条東小学校の校区を2つに割りまして、九条南小学校あるいは九条北小学校と再編するという案を地域の皆様と協議をさせていただき、大阪市の方針として計画を策定をいたしました。

円滑な統合に向けて、関係地域の代表の皆様をメンバーとしました会議体を設置することをこの場で報告をし、3月に設置をしているところでございます。

教育会議の委員の皆様からの主なご意見といたしましては、不登校支援策、あるいは九条地域の小学校の学校再編に関することにつきましてご意見を頂戴しまして、区役所といたしましては、ご理解、ご協力をお願いしたところでございます。

以上簡単ではございますが、ご報告とさせていただきます。

(川野議長)

ただいまの報告につきまして何かご質問ご意見ございませんでしょうか。

ではそろそろ時間も参っておりますので議事についてはこれで終了したいと思います。
ありがとうございました。

(澤田事業調整担当課長)

川野議長、議事進行ありがとうございました。

また、区政会議委員の皆様も、本日は活発な意見交換と議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございます。

まだまだご意見を伺って参りたいところですが、そろそろお時間も参っております。最後に三村区長からご挨拶申し上げます。

[区長あいさつ]

(三村西区長)

区長の三村です。

本日は長時間にわたったご議論本当にありがとうございました。

私も 4 つのテーブルを回らせていただいたのですが、先ほど川野先生からあったとおり本当に活発にご議論いただき、ありがとうございました。様々にいただいたご意見を区政にしっかり反映させていきたいと思っております。ご議論をお伺いした中で、私の考え、感じたところをお話させていただきたいというふうに思います。

その前に一点、緑色のリーフレットお配りしております。これ「西区バル」のリーフレットです。今日話題に出た SNS とかホームページですとか、リンクに入れるようになっているので、ぜひ皆さん入っていただければと思いますよろしくお願いします。

それでは今日のご議論について私の方で印象に残った点を何点かお話をさせていただきます。まず C グループですかね、広報紙に人が載っていると嬉しいというようなご意見をいただきました。ここはちょっと私もこだわって人を載せてきましたので、賛同いただけたのかなというふうに思っております。

それから、これ B グループだったかと存じますが、ホームページ等に載せている情報はやっぱりもうちょっと先の情報が欲しいと。それは確かにおっしゃるとおりだろうなあというふうに感じたところです。

それとですね、これちょっと笑えないなと思ったのですが、ホームページがあまりに見にくいと。だからホームページでこう何回もクリックして探すよりもグーグルで探したほうがよっぽど早いと。そこまで使いにくいのか、というふうに感じたところと。

あとこれも B グループだったかな、「西区バルのリーフレットはホームページに貼っていますか」というご質問があったのですが、区役所の職員があまりピンと来ていませんでした。やはり、こういう場で委員にお伺いするのだから、我々自身もホームページや SNS に登録して見るということ、こういうことが大事だろうなあと改めて思った次第です。

そもそも広報ってなぜ必要か、どういう位置付けをしているかという点について、私の考えをお話せたらうと、我々は行政サービスの提供者ということなので、行政サービスをしっかり皆さんにお届けする、それから行政情報をしっかりお届けすること、これが区役所、

公的な自治体の仕事だというふうに思っています。必要な情報を必要な人にしっかりお届けすること、これが1つの役割であるというふうに思っています。

もう1点が、新たなコミュニケーションツールとしての活用です。この2点目を広報の重要なポイントかなと思っています。以前もお話をさせてもらったことがあるかもしれませんが、やはり我々は地域に根差して業務を行っているので、地域の方々から意見をしっかりといただいてそれを反映していかないといけないと考えています。

ただ、これを対面でやっているとなかなか進まない。区役所の職員って全部でも200人ぐらいしかいないのですね。西区の住民は11万人の意見を聞こうとすると200人がどれだけ頑張っても不可能なんですね。ですので、様々な媒体で情報を集め、コミュニケーションを取っていく必要があり、やはりこれには広報として今申し上げた、広報紙やSNSと、ホームページとか、こういうツールを活用していくしかないなと思っています。

以上、そういう2つの点で広報というのは非常に大事だなというふうに思っております。

ここで話題に出ました広報紙、SNS、ホームページの位置付けですが、広報紙「かぜ」ですね。「かぜ」は情報がたくさんあるのと、一番大事なのはやっぱり網羅性、これでしたかね、Aグループでも話題に出ておりましたが、1つの記事を見たときに他の記事が見えると。だから見ようとしめない情報もちゃんと入ってくるのですよって。やはりこの重要性っていうのはあるのかなあと。あとやはりネットがなかなか使いにくいという方には、紙で広報していかないといけないなと、ということを感じています。

それとSNSはやはり最近拡大していますし、西区の人口自体も拡大している状況で、そこに届けようとするとはやはり早く届けられるという意味で、基本活用しないといけないと思っています。ホームページについては、皆さんに辞書的な役割で使ってもらえるような、こんな役割なのかなというふうに考えています。

こういった媒体ごとに、実はいろんな工夫をここまでしてきました。広報紙については、内容をもうちょっと増やさないといけないということで今年度からページ数を増やすことをしています。それからやはり1面ですね。1面で見てもらえるか見てもらえないか、大きな違いがあるので、1面を見やすくしました。ちなみに夏祭りを掲載している7月号では、お一人の写真をドーンとこう、これ高台の方を中心に載せているのですが、その写真はストリートスナップで堀江に有名なハレさんっていう、インフルエンサーのような方がいらっしゃるのですが、その方が撮った写真を載せています。見ていただければわかると思うのですが、本当にすてきな写真になっているのでぜひご覧いただきたいなと思います。こういう取組を進めてきました。

SNSも面白いものとか、誰かとコラボしたものがいいのかなと考えており、最近はリール動画にチャレンジしています。そういったことでいろいろ取り組んでいます。

ただ、それぞれバラバラで取り組んでいるので、トータルで見やすくなるか、というところまではまだ至ってないというふうに思っています。

ただ皆様からいただいたご意見は、我々もずっとチャレンジしようというか、取り組んでみ

ようというようにところから大きく外れておらず、もっと徹底してやってくださいねと、そういうようなご意見にも聞こえました。様々なことをスピードアップしながら、ぜひ取り組んでいきたいというふうに思っております。

とにかく、広報は行政として行政情報をお届けする、皆さんの声をお伺いすると、ということで非常に大事なツール、戦略・政策だというふうに考えていますので、引き続き皆様方のご意見をいただきながらではないと、方向性を間違えてしまう可能性もありますので、引き続きお伺いしながら進めていきたいと思っております。

区政委員の皆さんのご意見というのは必ず何らかの形で反映していくとの方針で決めていますので、また、ご自身の意見がこう反映されたというのいろいろな感じていただきながら、区政会議、そして区政にご参画いただけたらありがたいなと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

[閉会]

(澤田事業調整担当課長)

それでは本日は区政会員の皆様、長時間にわたりご意見を賜り、ありがとうございました。

本日の会議の内容は、西区のホームページで後日公開いたしますのでご了承願います。

次回の日程は、11月7日を予定しております。また、日程が近づきましたら改めてご案内いたします。

なお近々、区政会議の運営方法に関するアンケートを実施させていただきたいと考えております。活発な意見交換ができているかどうか、どのような課題があるかといったことについてお尋ねするもので、24区共通で実施いたします。

7月上旬にもメールにてお願いいたしますのでご回答、ご協力お願いいたします。

それではこれもちまして令和6年の第1回西区区政会議を終了いたします。

ありがとうございました。

どうぞお気をつけてお帰りください。